

# 呼びかけよう故郷の川をきれいに 長木川クリーンアップ作戦

7月3日(日)午前9時、花火を合図に「美しい自然と心・郷土愛をみんなと共に」をスローガンに、長木川をきれいにしよう協議会が中心となり第6回目の長木川クリーンアップ作戦が行われました。

今年は、36の協賛団体が参加し下町橋から花輪線鉄橋までの約2キロの範囲を、主婦の方はかっぽうぎ、小・中学生はトレンパン、ある団体はそろいのハンテン等、思い思いの作業着に紙袋やカマを手に、それぞれ分担区域の金物、紙くず空かん、流木等を捨て集めましたがクリーンアップが市民に定着してきたせいいか年々ゴミも減少し参加者の中には少々手持ちぶさたな表情を見せる人もみられました。

それでも県や市から出動した大型ダンプカーやローダー車10台にゴミが集められました。

中には、親子づれでお父さん、お母さんがゴミを捨て子どもが持った紙袋に入れそのたびに楽しい会話を交わすなどや

かな光景もみられました。

最後に本部前の花壇に美化運動の一環として、マリーゴールド等2,000本を縁あふれる町づくりの祈りをこめて植えました。また、東大橋下流に錦ゴイの稚魚1万匹が放流されました。

長木川をきれいにしよう協議会では、これからはクリーンアップだけではなく川を汚さないよう呼びかけて行くことにしております。



約3,000人が参加したクリーンアップ

## 上川沿小・中プール完成



このほど上川沿小・中学校に待望のプールが完成し、去る7月23日同校においてしん工式が行われました。

この工事は6月3日に着工し、総工費1,553万5千円、プール延長25m、幅8.5m、4コースで協和建設㈱が担当したものです。

昨年まで児童は、山館川を唯一の水泳場として利用していましたが、毎年、大雨による河川の汚染、混濁、そのうえガラスの破片等による事故も多発し、児童にとって危険で遊泳ができない状態におかれプールの完成が待たれていました。設備の整った近代的プールの完成で、連日、夏休みに入った児童たちの活発な笑声、水しぶきが上っています。

今年も緑の大敵アメシロヒトリが発生する時期となりました。昨年に比べ寒い日が続いたため幼虫(毛虫)の成長が遅れ、それほど被害はでておりませんがこれから広域にわたり被害が予想されます。

アメシロヒトリとは、戦後アメリカからきた白い小さな「ガ」でこの幼虫が多く植物の葉を食い荒らします。この虫は1年に2回、下図のように発生します。

卵からかえった幼虫(6月中旬~9月中旬)は糸をはいて「巣あみ」を作ります。この時に枝を切り取り踏みつぶすか、石けん液につけるか、焼き捨てるか手廻に退治できます。また、「巣あみ」から幼虫が散らばり始めたら葉剤散布を行うと一層効果が上がります。葉剤散布でも完全でなかった場合、幼虫は「さなぎ」になる場所を捜して地上に下りてきます。その際木の幹に「さなぎ」になる場所(バンド)を作り、焼き殺す方法で防除します。

まだアメシロ発生が少ないからと油断しないで、木や庭木の防除は各戸で行い、早期発見、早期退治に努めましょう。

町内で一斉共同防除をする場合は、市で動力防除機及び高枝切鋏を貸出ししますので、行政協力員を通じて申出てください。

### ◆主につく木

<庭木・街路樹>

プラタナス、ミズキ、サクラ、カエデ、ボプラ、チノキ、アカシヤ、トネリコ、ヤナギ、イチヨウ、キリ

<果樹・農作物>

クリ、カキ、リンゴ、ウメ、ナシ、クルミ、スモモ、オウツウ、クワ

## アメシロから緑を守ろう



職業訓練校でのアメシロ防除

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
蛹	成虫	卵	幼虫	蛹	成虫	幼虫

このまま越冬

## 国民年金だより

### ◆ 国民年金保険料は

自 索 納 付 を

国民年金事業に充てる費用は、年金法によって被保険者の方が保険料として納めることが義務づけられています。

市では現在、被保険者の便利を考え新市内には部落単位で国民年金委員を委嘱し皆さんの年金相談・納付督励、徴収を行っています。旧市内には委託収納員を置いて徴収に回っております。市民の中には、収納員が徴収に来ないので納めないと誤ってしている方もおられるようですが、自分自身のことですから進んで納めるようにしましょう。

たとえば、保険料の未納のため不慮の事故にあった際に、年金が受給出来なかつた場合もあります。

国民年金の場合、保険料を納めて不慮の事故の際に、老後の生活を守るために納めた保険料が自分に返ってくると考えて自主的に納めましょう。

また市では従来の納付金融機関に新たに大館市農業協同組合、その支所・支店・出張所にも納付窓口を設け市民の便利を図っております。

### ◆ 成人式を迎える皆さん

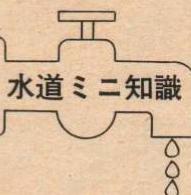
国民年金に加入しましょう

成人式を迎える皆さんおめでとうございます。夢と希望にふくらんだ門出を心からお祝い申し上げます。

皆さんは、20歳になった日から自分の意志と力で生きてゆく成人として多くの権利が得られる同時に義務も課せられます。それに、まず、身近なことから義務を果たすことが必要です。

国民年金に加入することもそのひとつです。国民年金は、あなたの生活を豊かに、人生をより安定したものにとの趣旨でつくられた国民の幸せを願う、国が行う社会保障事業です。わが国では、成人は必ず何かの年金制度に加入することが義務づけられ、この国民年金には、会社や工場に勤めて厚生年金に加入している人、学校や官庁に勤めて公済年金に加入している人、大学生などを除き、満20歳の誕生日を迎えた日から必ず加入することになっていま

す。未来のあなたの生活と突然の災難に備えて必ず年金に加入しましょう。



### ② 水道料のしくみ

生活文化の向上について水の使用量が年々増加していることから、大館市では市民の水を確保するため、昭和50年度から総事業費37億9,400万円をかけて、第2次拡張工事をおこなっております。

このように、水道施設の建設や改良には巨額な資金が必要ですが、この事業費の9.1%、34億5,000万円が国や公営企業金融公庫、銀行からの長期の借金(企業債)でまかなうことになっており、いわば元手なしで事業をはじめるとわけです。

第2次拡張事業は、昭和53年度に完成する予定ですが、このようにしてつくられた施設から水を送って得る水道料金の中で、水を送る際の電気代、薬品費、人件費等の経費を支払い、また企業債の元金や利息を返しながら事業を經營することになります。